

# 気候変動への取組みに関するアップデート

## サステナビリティ上のマテリアリティ（抜粋）



### 技術革新による商いの進化

当社グループは、2040年までにGHG排出量を上回る削減貢献量を創出する（オフセットゼロ）



### 気候変動への取組み（脱炭素社会への寄与）

当社グループにおけるGHG排出量を2018年比で2040年までに75%減、2050年までに実質ゼロを実現する

## 気候変動指標と目標 (2021年5月公表)

【当社におけるGHG削減目標対象】 Scope1/2/3(当社・子会社) および化石燃料事業・権益 (当社・子会社・関連会社・一般投資)

- ▶ 2030年までに2018年比40%削減を実現
- ▶ 2040年までに2018年比75%削減を実現、GHG排出量削減に貢献するビジネスの積極推進を通じ「オフセットゼロ」を目指す
- ▶ 2050年までにGHG排出量「実質ゼロ」を実現

### 削減貢献

2018年

2024年途中経過

9.7百万トン

2030年

2040年

### GHG排出量

242百万トン

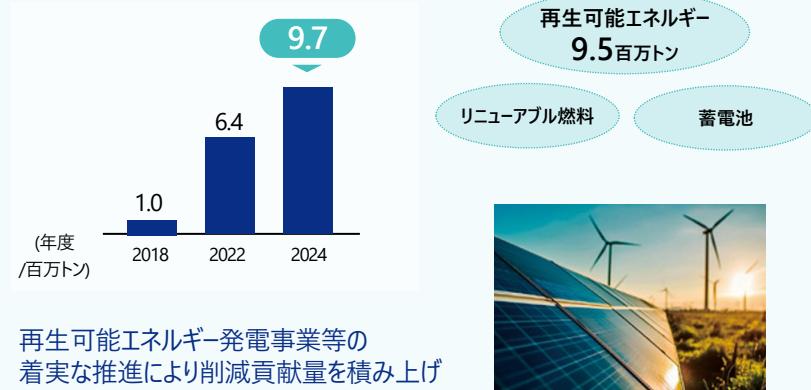
178百万トン

NEW

△40%

△75%

### 削減貢献量の積み上げ



### 2024年度 Scope3全カテゴリ

カテゴリ	(百万トン)	カテゴリ	(百万トン)
1. 購入した製品・サービス	60	9. 輸送・配送 (下流)	0.2
2. 資本財	0.6	10. 販売した製品の加工	16
3. Scope1、2に含まれない燃料・エネルギー関連活動	0.3	11. 販売した製品の使用	70
4. 輸送・配送 (上流)	7	12. 販売した製品の廃棄	2
5. 廃棄物	0.2	13. リース資産 (下流)	0.4
6. 出張	0.1	14. フランチャイズ	1
7. 雇用者の通勤	0.03	15. 投資	16
8. リース資産 (上流)	Scope1、2に含む	合計	175

Scope1/2及び化石燃料事業・権益(一般投資等)<3百万トン>を除く

GHG排出量及び削減貢献量の算定に関しては、国際的な議論や制度・ガイドラインの進展を踏まえつつ実施しておりますが、今後も最新の動向を踏まえつつ、適切に見直しを行っていく方針です。